

三重大学人文学部 公開講座2026



第1回
11/4(水)

14:40 ~
16:10

第3回
12/14(月)

14:40 ~
16:10

第5回
1/26(火)

14:40 ~
16:10

第2回
11/10(火)

14:40 ~
16:10

第4回
12/15(火)

13:00 ~
14:30 ※

※第4回のみオンライン
ほか対面にて開催



三重大学人文学部は今年度、一般の方を対象に入門的内容の講座を開講いたします。
複数の講座の受講も歓迎いたしますので、どうぞ奮ってご参加ください。

第1回：1000年前の味覚～宋詩から見る食文化
(講師：白崎 藍 人文学部特任准教授)

第2回：ポーランド南部のヴィミソリ語の現状と消えゆく「ことば」の未来について
(講師：下村 恭太 人文学部特任講師)

第3回：『源氏物語』の中の〈三重県〉
(講師：吉井 祥 人文学部講師)

第4回：資源高の今、木質資源を見直す <オンライン形式>
(講師：安部 大樹 人文学部特任助教)

第5回：白色の金：モノからみる18世紀ドイツ思想史入門
(講師：大林 侑平 人文学部特任講師)

無料
要申込

場 所：三重大学人文学部校舎

対 象：一般

定 員：制限なし(3名以下の場合不開講)

お申込：オンラインにて受付

右のQRコードまたは以下よりアクセスしてください

<https://forms.cloud.microsoft/r/2WHhdi7whi>

申込期限：各開講日7日前まで

<お問い合わせ> 三重大学人文学部チーム総務担当

(平日9～16時) (メール) info-hum@ab.mie-u.ac.jp

(電話) 059-231-6991・059-231-9194

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577



三重大学マスコットキャラクター
ミールド

2026年度 人文学部公開講座 開講情報一覧

整理 番号	講師名	題名と概要	日時
1	白崎 藍 (人文学部 特任准教授)	1000年前の味覚～宋詩から見る食文化 宋代は生活のディテールを詩の題材に落とし込むことが大きな特徴です。本講座では歴史や技術など背景を交えながら、「食文化」を切り口に宋代詩文を鑑賞します。1000年前の詩人たちが楽しみ、作品に遺した味わいを追体験していきましょう。【入門的】	11月4日(水) 14時40分～ 16時10分 ＜対面＞
2	下村 恭太 (人文学部 特任講師)	ポーランド南部のヴィミソリ語の現状と消えゆく「ことば」の未来について ポーランド南部の話者数5人未満の危機言語ヴィミソリ語について、フィールドワークで得た情報も用いて現状を報告し、日本の危機言語・方言とも比較しながら、消えゆく「ことば」との向き合い方を考える。【入門的】	11月10日(火) 14時40分～ 16時10分 ＜対面＞
3	吉井 祥 (人文学部 講師)	『源氏物語』の中の〈三重県〉 平安時代につくられた『源氏物語』から「三重県」を探し出し、当時の平安京の貴族たちが、どのようなイメージをこの地に抱いていたのか、特に和歌から考察していきます。【入門的】	12月14日(月) 14時40分～ 16時10分 ＜対面＞
4	安部 大樹 (人文学部 特任助教)	資源高の今、木質資源を見直す 今年はナフサ・石油を例に資源高、供給途絶も心配され、資源の輸入依存への危機感が高まりました。全てを代替できるわけではありませんが、木は昔のイメージより用途が広がっていること、そして木を供給する林業の変わりつつある現状をご紹介します。【入門的】	12月15日(火) 13時00分～ 14時30分 ＜オンライン (Zoom)＞
5	大林 侑平 (人文学部 特任講師)	白色の金：モノからみる18世紀ドイツ思想史入門 中国や日本から磁器が到来して一世紀、啓蒙の時代を迎えた神聖ローマ帝国内に設けられた、宮廷の壮麗な磁器コレクションや磁器窯を手掛かりに、宗教、科学、政治・経済の交差する議論をたどり、近世ドイツ思想史に入門します。※世界史の基本的な知識があることが望ましいですが、必須ではありません。【入門的】	1月26日(火) 14時40分～ 16時10分 ＜対面＞